

【競技名】NEST ロボコンオリジナル「サッカーチャレンジ」

【競技紹介】

NEST ロボコンオリジナル「サッカーチャレンジ」は、ロボカップジュニアのサッカーBのルールを基にし、世界大会で行われている「スーパーチーム競技(他国のチームとチームを編成して挑む競技)」の方式を採り入れたオリジナル競技である。

1. NEST ロボコンのエントリーとチーム

NEST ロボコンは、ロボット1台でエントリーすること。1台のロボットを2名以上で製作することも認める。NEST ロボコンの全競技は、別のロボットの製作者(製作グループ)とチームを編成し競技を行う。チームの組み合わせは、NEST ロボコン開催日の1週間前までに事前に公表される。

2. チーム編成

サッカー競技では5名(ロボット5台)で1チームをつくる。

エントリー時にライトウェイト、オープンで登録するが、チームはライトウェイト、オープン混合とする。

※混合での試合となるため、ライトウェイトのロボットは強度に考慮して参加することを推奨する。

3. 競技方法、回数

(1) 通常試合

1試合は5対5で行う。参加チーム数により、試合数を決定する。

(2) テクニカル競技「ビューティフルゴール！」

参加ロボット1台で、ゴールにボールを入れる競技。

・競技内容

ランダムに選ばれた場所にボールを置き、30秒以内にゴールする。途中ボールが場外に出る、または、ゴールに入ったら終了。

・手順

①サイコロを振り出た目の場所にボールを置く

1, 2 = A地点

3, 4 = B地点

5, 6 = C地点

※各地点はゴール中心より等距離となっている。

②ボールから30cmはなしてロボットを置きスタート

ロボットの向きはどの方向でもよい。

③競技参加ロボットすべて終了したら、

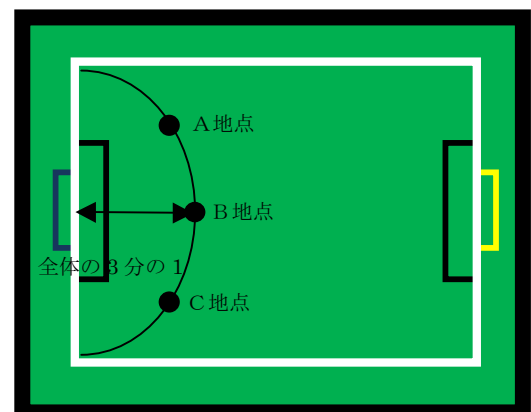
ゴールしたロボットでゴールするまでの時間を比較し、

上位ロボット複数台で決勝を行う。(具体的な台数は参加チーム数により決定する)

・注意事項

ビューティフルゴール用のプログラムを用意してはいけない。普段のサッカー競技用プログラムで参加すること。

競技前にボールを転がして通常の動きか確認する場合がある。



4. 適用ルール

ロボカップジュニアジャパンオープン 2016 愛知 (サッカーB) ルールをベースに実施する

【ルールリンク先】

<http://www.robocupjunior.jp/rule.html>

http://rcj.robocup.org/rcj2015/soccer_2015.pdf

上記ルールにくわえ下記、特殊ルールを追記する。

【5対5特殊ルール】

(1) キックオフ

キックオフはキックオフ側チームゴール付近にある2か所の中立点いずれかから始める。どちらからキックオフするかはチームキャプテンが選択する。

各チームのロボットは中央中立点より自陣側寄りのフィールド内いずれからでもスタートしてよい。その際、チームメンバーであれば、誰でもスタートスイッチを押してよい。

(2) アウトオブリーチ

ボールが白いラインより出てフィールドに復帰できないとき、ボールを審判がフィールドに戻す。

その際、戻し先は審判から一番近いカーペット上に試合に影響の無いように置く。

(3) ハンドルの強度

ロボットが故障等で退場させられるとき、フィールド中央などにおいて審判の手が届かない場合、棒などで引っかけてロボットを撤去する。このことを考慮しハンドルには十分な強度を持たせること。

(4) フィールドは会場の状況によって床面に設置する場合がある。この場合、地磁気の影響等が考えられ得るので十分に対策を考慮しておくこと。

5. 順位付け

グループの各試合結果の勝ち点、得失点差、総得点を合計し総合成績で順位付けを行う。

6. プレゼンテーション・ポスター

サイズはA3縦とする。ロボット製作者（もしくはグループ）は事前に活動内容、戦略、ロボットの機構や動きの説明等をプレゼンテーション・ポスターにまとめ、競技会当日、会場に掲示しておかなければならない。

優秀なプレゼンテーション・ポスターを制作したロボット製作者（もしくはグループ）には、ベストプレゼンテーション賞が授与される。

7. 賞

1) チーム単位で優勝・準優勝・第3位を表彰する。

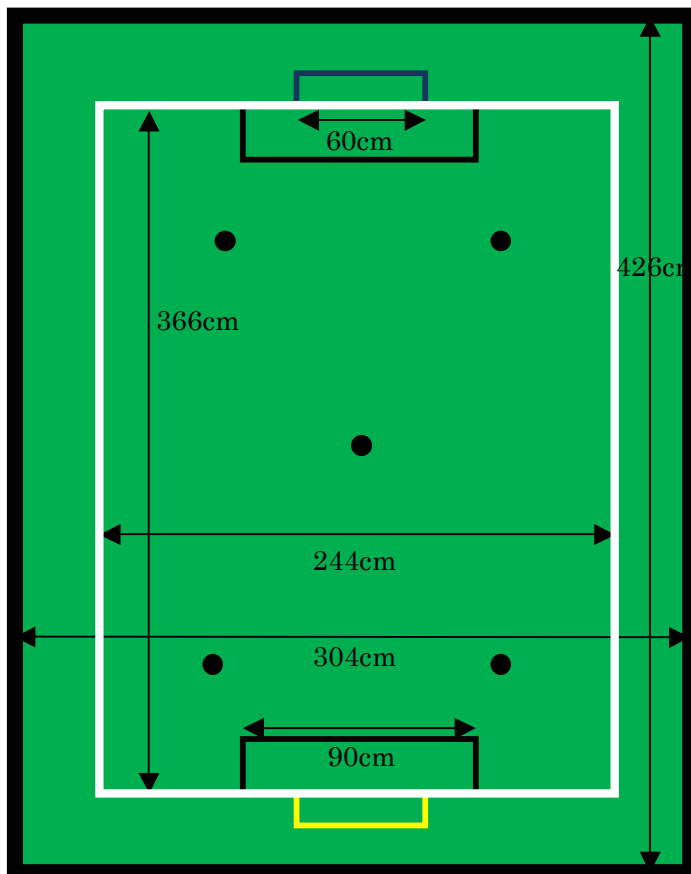
2) 個人単位で得点王を表彰する。

3) ベストプレゼンテーション賞を設け、賞状を授与する。ベストプレゼンテーション賞は1台のロボットを製作した個人もしくはグループを対象とする。

4) ベストキッカー賞 個人単位でビューティフルゴール！で優勝したロボットを表彰する。

8. フィールド

フィールドは通常の B フィールドの大きさの約 4 倍となる。イメージは以下の通り
 ゴールサイズ、ペナルティエリアサイズは通常 B フィールドと同じ。



9. 参考

2014 年世界大会で実施された 5 対 5 競技の様子はこちらをご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=dhS9ZR8KToE>